

2025-26 年度 2680 地区 地区方針

ガバナーの行動指針



TAKE ACTION TOGETHER !
MAKE INNOVATION !

手に手つないで 革新的な行動をしよう！

活動方針

- ◆ 国際ロータリー会長のメッセージの理解と実践を行いましょう。
- ◆ 革新、継続性、パートナーシップの 3 つの柱で会員増強と活性化を目指しましょう。
- ◆ 2680 地区の全メンバーが一丸となって、より良いロータリークラブを創り出す行動計画の推進者になりましょう。
- ◆ 3 年間の目標（3-year Rolling Goals）を入力し継続していきましょう。
- ◆ ロータリーの最大の財産、それは会員です。ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員です。
- ◆ 革新を育み、クラブのリーダーを支援する体制を創り出しましょう。
- ◆ クラブの維持増強と革新的タイプのクラブを創出しましょう。
- ◆ 私たちは、よいことのために手を取りあいましょう。

運営方針

- ◆ 地区（委員会）の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである。
国際ロータリー会長のメッセージに従い、より魅力的なクラブ運営を支援する。
- ◆ 地区運営会議を重視する。
- ◆ 地区委員長は、原則地区ラーニング委員会メンバーとなる。
- ◆ 地区委員会は委員の中より運営幹事を置くことを推奨する。
運営幹事の責務は以下と定める。
委員会開催場所、日程、出席、資料等を地区事務所担当者と綿密に打合せ実行する。
- ◆ セミナーに関しては、委員会内にて慎重かつ柔軟な協議を行い、セミナー開催を決定した場合は企画段階において地区ラーニング委員会に以下の資料を提出し審議の上、実行に移す。（開催趣旨、事業計画案、事業予算案、等）
- ◆ 地区委員の在籍期間を最長 5 年とし、委員の更新に努め、新しい地区委員の育成と地区の要職に就けるリーダーを育てる。

ガバナー補佐

- ◆ 地区主催の活動に積極的に参加する。
- ◆ 地区ラーニング委員会メンバーとなる。
- ◆ 国際ロータリー会長のメッセージを理解し、地区の行動計画にそって、グループ内クラブを支援指導する。

- ◆ グループ内のクラブを年間 4 回以上訪問し、併せてローターアクトクラブも訪問する。
- ◆ クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたり、改善すべき問題点があればガバナーと協議の上、助言、指導する。（ローターアクトクラブも含めて）
- ◆ 関係委員会と連携し、クラブやグループが奉仕プロジェクト、補助金プロジェクト等に積極的に取り組むように支援する。
- ◆ グループ内でリーダーを育成する。
- ◆ IM はグループ内クラブの現在のロータリーの方向性に対しての理解の場であり、国際ロータリー、地区の行動計画に則り行うことを推奨する。
- ◆ 地区大会および、地区活動に会員の参加を呼び掛ける。

地区委員会

ラーニング委員会

- ◆ ラーニング委員長はガバナー、ガバナーエレクトと協力して、クラブと地区のリーダーにラーニング及び研修を行い、地区のラーニング及び研修計画を監督し支援する。
- ◆ 地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会の計画と実施に協力する。
- ◆ 地区委員会が企画するセミナー等について、必要な意見を述べる。
- ◆ 担当グループ、クラブに各セミナーへの会員の参加を積極的に呼びかける。

危機管理委員会

- ◆ 地区並びにクラブでの危機管理事案に速やかに対応する。
- ◆ クラブにおける危機管理への認識を高めるための活動を行う。
- ◆ クラブの危機管理委員会への支援を行う。
- ◆ 地区委員会における危機管理意識の向上を図る。

規定審議委員会

- ◆ 2026 年決議審議会に提案する決議案を、クラブの意見を踏まえて提案する。
- ◆ 2025 年規定審議会で採択された制定案のクラブへの周知を図る。
- ◆ 国際ロータリー細則とクラブ定款・クラブ細則に対しての理解促進を図る。

行動計画委員会

- ◆ 国際ロータリーの行動計画および地区の行動計画に対する理解を推進する。
- ◆ クラブ管理運営委員会と協力し、クラブの行動計画委員会の設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ 地区ビジョン及び地区行動計画の見直し
- ◆ 行動計画推進リーダーへの協力、連携

地区財務委員会

- ◆ 地区予算案の作成並びに地区資金の管理および地区財務に関する年次報告書を作成する。
- ◆ 収支が正確に保持されているか常時確認する。

奉仕プロジェクト特別会計委員会

- ◆ 奉仕プロジェクト特別会計への資金支援申請を審査する。
- ◆ 資金支援を行なった奉仕プロジェクトの実施報告を確認する。

監査委員会

- ◆ 地区活動並びに会計が適切かを監査する。

クラブ管理運営委員会

- ◆ クラブの効果的な管理運営に関する活動の実施を支援する。
- ◆ 全クラブが将来のビジョンや行動計画を策定するのを支援する。
- ◆ クラブの行動計画委員会の設置状況を調査し、未設置クラブへは設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ My ROTARY への登録率向上と積極的に活用できるよう支援する。

職業奉仕委員会

- ◆ ロータリーにおける職業奉仕の理念について研鑽し、成果を踏まえて基本理念が広く会員に理解されるようセミナーなどを開催する。
- ◆ 職業奉仕月間(1 月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

社会奉仕委員会

- ◆ クラブが取り組むと良い地区内の新しい傾向、課題、または問題を特定するのを援助する。
- ◆ 情報を分かち合い、クラブの目標設定を援助することを通じて、クラブ社会奉仕プロジェクトとロータリー以外の地元の奉仕団体とパートナーシップ分野を探す。
- ◆ 地区やゾーンの会合で、優れた社会奉仕プロジェクトの展示を実施する。
- ◆ クラブやグループが地区補助金プロジェクトを積極的かつ円滑に行なえるように必要な支援を行う。
- ◆ 継続プロジェクトのスクラップ・アンド・ビルドの必要性も提案する。
- ◆ 公共イメージ委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学、検証し、他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 発達障害理解のための基礎と実践講座の開催および関連する活動を展開する。
- ◆ プロバスクラブとの相互理解を図るとともに活性化に取り組む。
- ◆ 環境小委員会は、地球上の自然環境や生態系を保護し持続可能な状態を維持するための取り組みを考える。
- ◆ 地球環境に関する調査、研究、および実践に取り組む。
- ◆ 地域社会や家庭内において環境を考慮する生活習慣について取り組む。
- ◆ 環境に関連する月間（4 月）において、クラブの関連プログラムに協力する。

国際奉仕委員会

- ◆ 他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、その文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培い国際理解、親善、積極的平和を推進する。
- ◆ クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。

- ◆ VTT、奨学金・平和フェローシッププログラムを支援する。
- ◆ 国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。

青少年奉仕委員会

- ◆ 青少年奉仕は指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識する。
- ◆ クラブの青少年奉仕活動の認知度向上、協力体制の強化をする。
- ◆ リーダー育成のための研修プログラムを構築する。
- ◆ インターアクトクラブの活動支援、活性化方策の提案、新クラブの設立をめざす。
- ◆ RYLA プログラムへの会員の理解向上深め、実施する。
- ◆ クラブとの協力のもとに青少年交換プログラムに取り組み、成功に導くマニュアルを整備する。
- ◆ 青少年奉仕関連プログラムの危機管理体制を確立する。
- ◆ 学友委員会他関係委員会と連携し、学友の活動を支援する。
- ◆ 青少年奉仕月間(5 月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

ロータリー財団委員会

- ◆ 4 小委員会の連携によってロータリー財団の理解を深め、活動を推進する。
- ◆ ロータリー財団セミナー、補助金管理説明会、補助金管理セミナーを実施する。
- ◆ ロータリー財団補助金プログラムの最終審査を行うとともに、プログラムが適切かつ適正に実施されるように指導及び管理をする。
- ◆ ポリオ根絶のための活動を積極的に支援する。
- ◆ ロータリー財団への寄付を推進する。
- ◆ ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)、ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS)入会を推進する。
- ◆ ベネファクターの認知と入会を推進する。
- ◆ 各クラブにロータリーカードの使用を推奨する。
- ◆ ロータリー財団月間(11 月)において、クラブの関連プログラムに協力する。

会員維持増強委員会

- ◆ ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力し、職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付ける。
- ◆ 若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく。
- ◆ 会員増強につながる会員増強策を特定、推進、実施し、地区内に新しいロータリークラブを結成する計画を立て、実行する。
- ◆ さまざまなクラブモデルを採用し、推進する。(衛星クラブ、分野特化型クラブなど)
- ◆ 会員増強および会員基盤の多様化に成功した事例を検証して紹介する。
- ◆ 退会防止に向けた企画を提案し、推進する。
- ◆ 会員増強・新クラブ結成推進月間(8 月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

DEI 委員会

- ◆ 会員と参加者の拡大および多様化をし、会員、参加者、地域社会の多様性、公平性、インクルージョンの実践と方針を促進するため、会員、クラブ、地区の取り組みを支援する。
- ◆ 地区ラーニング委員会と協力して、多様性、公平性、インクルージョン教育を提供する。

公共イメージ委員会

- ◆ ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上への取り組みを行う。
- ◆ 地区補助金プロジェクト実施状況を見学、検証、情報発信に取り組む。
- ◆ 報道機関との定期的交流を実施する。
- ◆ DX 推進小委員会は地区運営およびクラブ運営を支援し、地区 SNS による活動の発信をする。

RLI 委員会

- ◆ RLI 方式による地区リーダー、クラブリーダーの育成の為に研修を行う。
- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム・ラーニングセミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会、地区委員会セミナーを積極的にサポートする。

ローターアクト委員会

- ◆ 国際ロータリー（RI）構成クラブとしての活動の活性化を支援する。会員増強及びクラブの拡大の方策を提案し実施する。
- ◆ ガバナー公式訪問を支援する。
- ◆ 危機管理体制を確認する。

学友委員会

- ◆ 5 学友会相互間の交流を促進し、ロータリーファミリーとしての一体化意識を形成する。
- ◆ 地区やクラブ行事への学友の参加を積極的に推進し、ロータリーに対する理解を深める。
- ◆ 青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会と連携し、ロータリーファミリーの集いを企画し実施する。
- ◆ 学友を中心とした新しいタイプのクラブの創出を推進する。

米山記念奨学委員会

- ◆ 米山記念奨学会の目的や活動内容について会員の理解を深める。
- ◆ 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図る。
- ◆ 米山記念奨学会への寄付を推進する。
- ◆ 米山奨学生学友会(兵庫)の活動を支援する。
- ◆ PHD 協会の活動を支援する。
- ◆ 米山月間(10 月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

2025-26 年度年間数値目標

1. 会員増強	各クラブ純増 2 名
2. My ROTARY 登録率	75%以上
3. ローター財団年次基金	1 名あたり 160 ドル
4. ローター財団恒久基金	ベネファクターまたは遺贈友の会会員 10 名増
5. ポリオ基金	1 名あたり 40 ドル
6. 米山記念奨学会	1 名あたり 17,000 円

2025-26 年度クラブ優秀賞（旧：ロータリー賞）

重要事項

1. ロータークラブ・セントラルを開く
2. 目標内容を確認する
3. その中から半分を超える目標（全目標の 51%）を選ぶ
4. 選んだ目標を達成する
5. ロータークラブ・セントラルで目標の達成を報告する
6. 達成を祝う！

留意点

- クラブ優秀賞の手続きはオンラインで行われます。
- クラブは、1 年（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）をかけて達成に取り組みます。
- クラブ優秀賞を獲得するには、その年度を通じて正規クラブであり、瑕疵（人頭分担金の未納）がないクラブでなければなりません。
- ローターアクトは、ローターアクト会長または提唱クラブ会長が、オンライン推薦状を提出してクラブ推薦します。
ローターアクトクラブ 1 件の推薦のみを提出することができます。
- インターアクトは、スポンサーのロータリークラブ会長が、賞へのオンライン推薦状を提出します。
- ローターアクトとインターアクトの表彰状は My ROTARY からダウンロードする PDF 形式となり、賞への推薦はオンラインで行われます。